



豊けき耕土

校訓

誇り
夢
前進

常に正しきを求めて 向上的態度を持とう (古川学人 吉野作造博士 古川餘影より)

大崎市立古川中学校 〒989-6152 大崎市古川二ノ構7番54号 TEL 0229-22-0236
ホームページ <http://www2.educ.osaki.miyagi.jp/furukawa-c/index.html>



修了式 ～進級おめでとう～

201日間の学校生活を経て、今日「修了式」を無事に迎えることができました。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、行事の縮小など様々な制約がある中での学校生活となりましたが、保護者や地域の皆様には、感染防止への取組はもちろん、様々な場面で御理解と御協力をいただきました。本当にありがとうございました。

式辞

校長 野村 清正

今年の冬はかなり寒く、雪も多く降りました。つい3週間ほど前まで体育館脇の通路も、厚さ10センチを超える氷で、歩くのも大変でした。しかし、季節は巡るもので、今はすっかり氷も溶け、日差しも暖かく、春の陽気を感じさせる季節となりました。

201日間の令和3年度も本日で終了です。いよいよ明日からは春休みです。今年度も1年間、大変お疲れ様でした。

今年度一年を振り返ると、今年度もコロナに翻弄された一年でした。しかし、皆さんの協力のお陰で、合唱コンクールこそ中止となったものの、体育祭、中総体など、工夫しながらも実施できたことは、皆さんの思い出に強く残っていることと思います。

制限を受けた学校生活でしたが、そんな中でも皆さんはよく頑張りました。体育祭で見たクラスの団結力、中総体で見た諦めない心の強さ、普段の生活でもクラスメイトを気遣う優しさ、自分の役割をしっかりと果たそうとする責任感など、皆さんが日々の生活の中でしっかりと成長していると感じる場面がたくさんありました。これからも古中生としての自覚を持って生活し、さらに成長していくことを期待しています。

今日は修了式にあたり、古中のスローガンである「夢」「誇り」「前進」について少しお話をします。もうすでに何回かお話ししていますが、大事なことなのでもう一度お話をします。

古中のスローガンは「夢」「誇り」「前進」です。簡単に言えば、皆さん一人一人が、「夢」自分のやりたいこと見つけて、「誇り」自信を持って、「前進」やり続けてほしいという願いが込めてあります。その一つ一つをもう少し考えてみたいと思います。

まず、「夢」自分のやりたいことを見つけるとは、自分との対話を大事にすることです。自分のやりたいことは、自分にしか分かりません。今の世の中は、情報通信技術が発達し、様々な情報が世の中にあふれています。そしてそれは刺激的です。しかし、他人の受け売りでは自分のやりたいことは見つかりません。その答えは常に自分の心の内にあります。自分のやりたいことは自分に聞くしかありません。自分との対話を大事にしてください。

二つ目の「誇り」自信を持って…とは、「当たり前のことを当たり前にする」ということです。当たり前のことの繰り返しは自信となります。自分を信じることで、自分を認めることにつながります。目立つこと、奇抜なことは関係ありません。別の言葉で言えば、皆さんの合い言葉として大切にしている「凡事徹底」ということにつながります。

最後に三つ目の「前進」やり続ける…とは、失敗を恐れないということです。何かをやろうと思えば、当然失敗もします。そんなことは当たり前です。大事なことは転ばないことではなく、何度でも立ち上がって進み続けることです。古中の教育目標である「常に正しきを求めて、向上的態度を持とう」という言葉は、古中の大先輩である吉野作造先生の言葉からとったことは、皆さんもよく知っていることと思います。(裏面に続く)



吉野作造先生はこんな言葉も残しています。

「路行かざれば至らず 事為さざれば成らず」

意味は、「どんな道でもその道を行かなければ目的地に到着することはできない。どんなことでもやってみなければ成功することはできない」という意味です。まさに前進することの大切さを伝えようとしているのだと思います。

古中の校訓「夢」「誇り」「前進」は、きっとこれからの皆さんの道しるべとなる言葉になります。これから「夢」「誇り」「前進」を大事にして、よりよい校風と伝統を創り上げてください。皆さんのますますの活躍を期待しています。

「修了にあたって」

1年代表 C・Hさん

僕が中学生になって過ごした一年を振り返ると感謝の気持ちを人に伝えられるようになったなと感じました。以前、僕はあまり人に感謝を伝えられなかったのですが、中学生になり感謝の気持ちを伝えられなくて、この先ずっと今の自分から変われないと感じ、少しずつですが感謝の気持ちを伝えようと心掛けました。感謝の気持ちを伝えるようになってから「ありがとう」や「お願いします」の一言が自然に言えるようになりました。感謝の気持ちを伝えられるようになってから自分の考え方が変わり、マイナスなことを考えがちだったのが、プラスな考えも増え、学年委員として学級や学年全体を見られるようになり、成長できた一年間になったと思いました。

学年や学級の良いところは沢山ありましたが、その一方で全体の課題もありました。それは提出物です。他の学級と比べ、提出率はあまり高いとは言えませんでした。学年委員として改善しなければならぬのですが、あまり重いことととらえずに気にせず生活していました。学級の提出率が上がったのは先生から指摘されてからでした。提出率が上がったからは、ほとんどの人が提出物をきちんと出すようになりました。このことから僕は、自分の改善しなくてはいけないことは、感謝の気持ちと同じで自分自身の意識から改善しなければならぬと学ぶことができました。

4月からは2年生になります。後輩ができたりクラス替えがあったりと、1年生と変わるものが沢山あります。その中で一人一人の役割も増えると思います。自分の役割を理解して、人に言われてから行動をするのではなく、自分から率先して行動していきたいです。

2年代表 M・Eさん

私たちが2年生に進級してもう一年が経ちました。来月からはいよいよ最高学年である3年生になります。3年生になるための準備段階とも言える1月以降の期間は、1学期と比べると良い生活を送ることができたと思います。

しかし、iPadの誘惑には勝つことができませんでした。今年度から導入された1人1台のiPadの使い方が、1学期の頃と比べて改善できていないと思います。iPadのきまりを守れず使用していることもありました。3年生になってからもこのような生活を続けていってしまうと、日々の学習に大きな影響が出ると思います。受験勉強に対する影響も考えられます。自分の人生にも関わることを考え、一刻も早く改善していきたいです。

その一方で、先輩として見られていることを意識することが多くなりました。先日の卒業式の後片付けでは、1年生と一緒に活動しましたが、学年・学級だけで活動するときより、積極的に片付けをしたり、困ってる1年生を助けたりして先輩としての背中を示していました。こういった意識の変化は、学年としても誇れる素晴らしいところだと思います。

春休みで少し感覚が薄れるかもしれませんが、今年一年を通して学んだ先輩としての心を忘れないで、誇りを持って残りの一年を過ごしていきたいです。

生徒会代表 C・Rさん

新執行部になってから約半年の間、私たちは全校生徒の皆さんの学校生活をより良くするために活動してきました。その活動の中で心に残った活動を振り返っていきます。

一つ目は、新生徒会スローガンの作成です。この活動は、新執行部として、初めて行う大きな活動でした。執行部の意見だけではなく、全校生徒の意見を取り入れて作成しました。皆さんの意見をもとにして、どのようにしたら覚えやすいスローガンになるか、インパクトのあるスローガンにできないかなど、執行部の皆で頑張って考えました。そして完成したスローガンは“挑～その先の希望へ～”。皆の意見を取り入れて素晴らしいスローガンを作ることができました。そして、クラスに一枚掲示されていたスローガン用紙も、執行部一人一人がデザインを考え、その中から選ばれたものです。初めての大きな活動で、執行部だけでなく、生徒全員で活動することができたので良かったです。

二つ目は、出前授業です。今年は、コロナウイルスの影響で、例年通りの授業はできませんでした。そこで、オンラインで小学生と交流し、古中での授業内容や、学校生活、部活動について、説明しました。説明するための文章やスライドも、全て執行部で作りました。迎えた当日では、説明を終えた後、小学生からたくさんの質問をもらいました。とても達成感があつたし、ここまで頑張ってきて良かったと思いました。

三つ目は、3年生を送る会です。この行事は、今までお世話になってきた先輩方に感謝を伝える行事で、各学年からの出し物を作って先輩方にお見せしました。執行部では、スライドショーを作成することになり、皆で分担して、作ることができました。当日には、司会や始めの言葉など、自分たちで会を進めることができました。

他にもたくさんの活動を行ってきて感じたことは、人を喜ばせるためには、一人で活動するよりも、同じ委員会の人など、たくさんの人たちの協力を得ることで、更に良いものを作り上げることができるということです。執行部の生徒だけでなく、全校生徒の皆さんがいたからこそ成し遂げられたことがたくさんありました。活動する中で、もちろんですが反省点もありました。新学期からの活動では、その反省を生かして活動していきたいです。全校生徒の皆さん、様々な場面で協力していただき、ありがとうございました。これからも生徒会活動への御協力をよろしくお願いします。